

岩手県内の二級水系における流域治水プロジェクトについて

岩手県では、二級水系においても流域治水の検討を進めており、小本川水系で令和3年2月5日に流域治水協議会を開催したところであり、流域治水プロジェクトを近日中に公表します。その他の二級水系でも順次、流域治水協議会を設置し、取組を進める予定ですので情報提供します。

1 二級水系の取組状況について

(1) 小本川水系（先行モデル水系）

小本川水系を先行モデル水系として位置づけ、流域治水の検討を進めており、令和3年2月5日（金）に流域治水協議会を開催しました。

同協議会で検討した「小本川水系流域治水プロジェクト」を、近日中に公表予定です。

(2) 久慈川水系、閉伊川水系、甲子川水系、気仙川水系（流域対策実施水系）

二級水系における流域治水プロジェクトの推進に係るワーキンググループ（WG）を設置し、流域治水協議会・幹事会構成員の検討及び流域治水プロジェクト素案の検討を進めています。

小本川水系に続いて、久慈川水系等でも来年度の流域治水プロジェクトの策定・公表を目指して、検討を進めているところです。

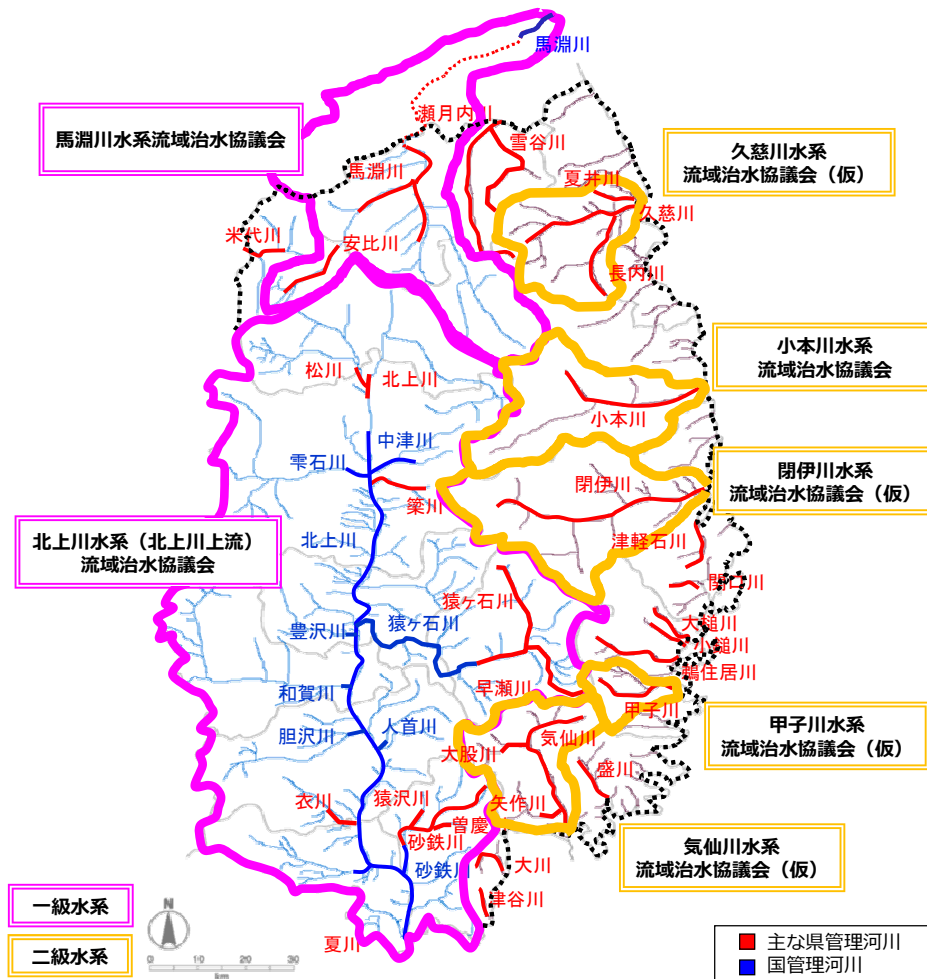


図. 流域治水協議会の区分図

二級水系
流域治水プロジェクト

小本川水系流域治水プロジェクト(案)【ロードマップ・効果】
～流域が一体となって「命を守る」山間部の流域治水を実践～

岩手県

○小本川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期】河道掘削や築堤、流木捕捉工整備等の河川改修や、砂防堰堤、治山施設、道路の嵩上げの整備を集中的に実施。
また、災害危険区域の指定による土地利用規制の実施。

ソフト対策では、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、民間企業と災害協定を締結し要配慮者の避難支援体制の強化を図る。また、洪水・土砂災害ハザードマップの作成・周知や水位周知河川の指定・運用に加え、ホットライン、タイムラインの活用による防災体制の強化を図る。

【中期～中長期】河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
ソフト対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	河川改修（河道掘削、堤防・樋門整備、流木捕捉工等）	岩手県	■	■	■
	砂防堰堤整備	岩手県	■	■	■
	治山施設等整備	岩手県ほか	■	■	■
被害対象を減少させるための対策	輪中堤整備	岩手県	■	■	■
	宅地嵩上げ	岩手県	■	■	■
	災害危険区域の指定	岩泉町	■	■	■
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設の避難確保計画策定、避難訓練の実施	岩泉町・民間	■	■	■
	防災士育成講座	岩泉町	■	■	■
	道路嵩上げによる災害時の通行確保	岩手県	■	■	■
	洪水・土砂災害ハザードマップ	岩手県	■	■	■
	水位周知河川、ホットライン等	岩手県・岩泉町	■	■	■
地元連携、防災意識の共有			■	■	

平成28年8月台風第10号 小本川 氾濫状況



上流（小川地区）



中流（市街地）



下流（乙茂地区）



下流（安部・中島地区）



浸水被害軽減
逃げ遅れゼロ